

平成 27 年度 建設工事関係者連絡会議を開催しました

大淀労働基準監督署は、建設業における労働災害を防止するため、管内市町村の公共工事発注機関と建設業労働災害防止協会（建災防）各支部との連絡会議を開催しました。

日 時：平成 27 年 6 月 25 日（木） 午後 2 時から

場 所：大淀町文化会館

出席者数：発注機関、建災防 3 支部 22 名

主な内容： 労働災害の発生状況について
墜落・転落災害防止対策について
粉じん暴露防止対策について

平成 26 年に管内の建設業で発生した休業 4 日以上之死傷災害は 36 件で、このうち墜落・転落による死亡災害は 1 件でした。そして、平成 27 年も墜落・転落による死亡災害が 1 件発生しています。この 2 件の死亡災害は、安全帯を着用するなどの墜落防止措置が取られていれば防ぐことができました。

そこで、会議では第 12 次労働災害防止計画で建設業の墜落・転落災害防止対策として普及を掲げているハーネス型安全帯について説明を行いました。

また、管内にはトンネルの建設現場が数か所あることから、呼吸用保護具についての講習も行いました。

今後も、公共工事発注機関や建災防などの関係機関と連携し、建設業における労働災害防止の取り組みを進めてまいります。



【会議の様子】



【講習の様子】